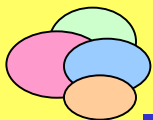




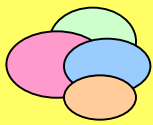
「いわて県民計画」について

岩手県政策地域部



本日の構成

- 1 はじめに
- 2 計画の期間・構成
- 3 岩手の今を見つめる
- 4 「ゆたかさ」「つながり」「ひと」で岩手の未来を拓く
- 5 みんなの基本目標
- 6 私たちが実現していきたい岩手の未来
- 7 岩手の未来をつくる7つの政策
- 8 岩手の未来を切り拓く6つの構想
- 9 地域振興の展開方向
- 10 県政運営の基本姿勢
- 11 アクションプラン



1 はじめに

どうして
計画を
つくるの？

- ・取り巻く環境が大きく変化する中、県民一人ひとりが希望に向かって、いきいきと働き、安心して暮らせる社会づくりが大切です。
- ・県民の総力を集め、希望あふれる岩手の未来を描き、その実現に向けて行動していくため、みんなの羅針盤となる計画が必要です。

どんな
計画なの？

計画の
役割

県の政策推進の方向や具体的な取組内容を示す計画

地域社会の構成主体が未来に向けて行動するときの指針

なぜ、
「県民」
計画なの？

作り方

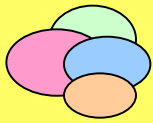
・多くの県民の皆さんからご意見をお聞きし反映

描き方

・県民の生活ステージに着目した将来像、県民の役割等を記載

進め方

・地域社会を構成するあらゆる主体(県民)の総力を結集して推進

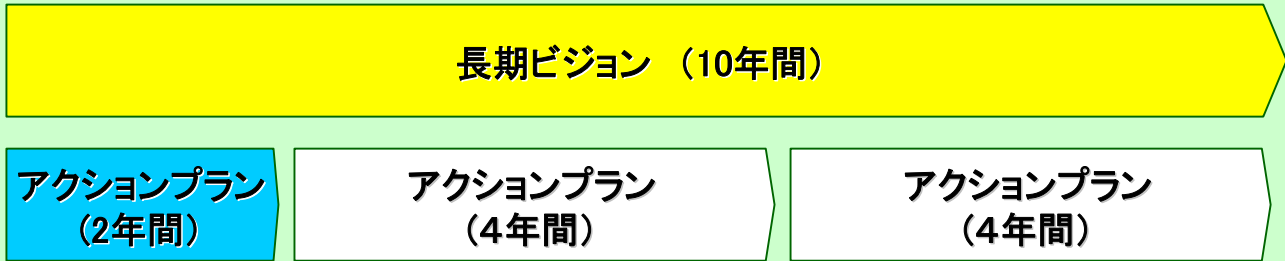


2 計画期間・構成

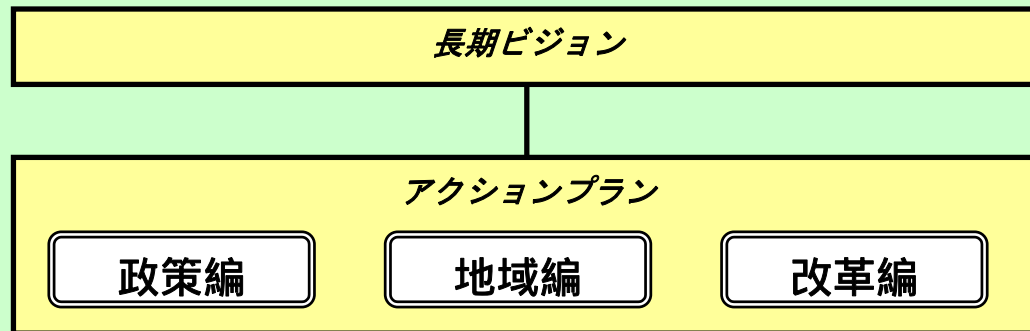
【計画期間】

21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

いわて
県民
計画

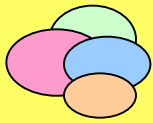


【構成】



いわて県民計画 【長期ビジョン編】

平成21年度(2009年度) ~ 平成30年度(2018年度)



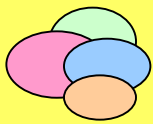
3 岩手の今を見つめる①

世界の変化

- **情報通信技術の進歩などで世界が一つに**
ヒト、モノ、資本、情報、技術、サービスなどが国境を越えて活発に移動
- **一つになった世界の光と影**
新興国等の著しい経済成長の一方、世界規模での環境・エネルギー・食料・感染症問題などを誘発
- **グローバル・スタンダードとローカル・スタンダード**
国際的に共通した理念・ルールが広がる一方、地域の文化、価値観を見直し、評価する動きも拡大

日本の変化

- **グローバル化の中で将来への展望を模索する日本**
社会経済システムの行き詰まり、非正規雇用やワーキングプア等、格差の拡大
- **本格的な人口減少社会の到来**
労働力人口の減少や社会保障制度の不安定化の懸念、社会システムや価値観の転換が必要
- **価値観の多様化と「ローカル」の重視**
心の豊かさを実感・体感できるライフスタイル等「ローカル」の視点への関心の高まり、多様な主体の社会参画の活発化



3 岩手の今を見つめる②

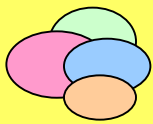
岩手の変化

急速なグローバル化の渦中にある岩手

- 自動車関連産業や半導体関連産業等のものづくり産業が集積
 - 質の高い農林水産物輸出の増加や、外国人観光客の増加
 - ▲ 世界的な経済危機に伴う輸出関連産業の生産縮小や雇用環境の悪化
-
- 地球環境問題を捉え、風力・太陽光・バイオマス発電など、地域資源を生かした取組
 - ▲ 地球温暖化などにより、盛岡の年平均気温は この100年で1.5度上昇

人口減少・少子高齢化の一層の進行

- ▲ 全国に先立ち、平成9年から人口減少社会に移行
- ▲ こうした傾向が継続した場合、平成30年には120万人から125万人程度と予測
- ▲ 少子化:合計特殊出生率1.39(平成20年)
- ▲ 高齢化:65歳以上の人口割合26.3%(平成20年)と4人に1人以上が高齢者に
- ▲ 世帯の小規模化が進行(平成19年の1人当たり人員数2.73)、高齢世帯が増加
- ▲ 各集落に住む人の減少と高齢化が進み、集落機能の維持が困難化



3 岩手の今を見つめる③

グローバル社会と岩手

2007年岩手県の輸出入実績

- **輸出** 3,994.4億円(前年比130.8%)
- **輸入** 600.0億円(前年比132.1%)

岩手県の輸出の特徴

- 輸出の7割を占める**自動車・関連部品**
輸送用機器 2,911.2億円(前年比144.0%)
- 好調な**農水産物**
水産物、リンゴ 35.8億円(前年比142.1%)

岩手県の輸入の特徴

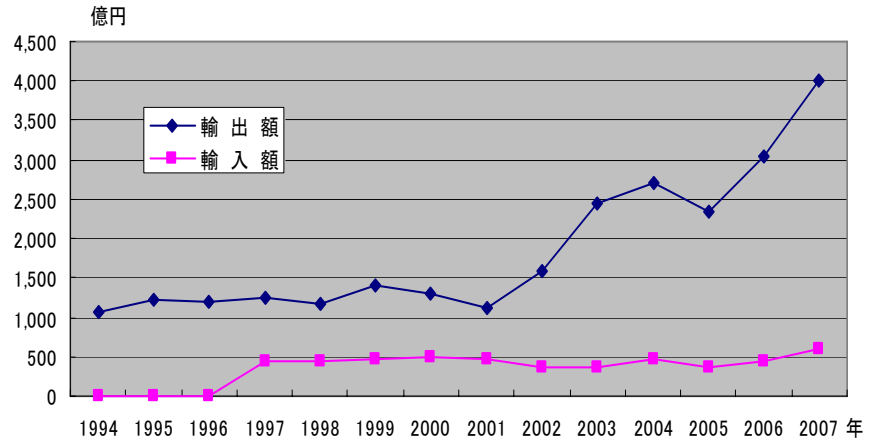
- 輸入の5割を占める**機械機器**
機械機器 286.6億円(前年比137.3%)
- 医薬品原料などの**化学製品**がシェア17%
化学製品 101.3億円(前年比212.3%)

主たる製造業の輸出入

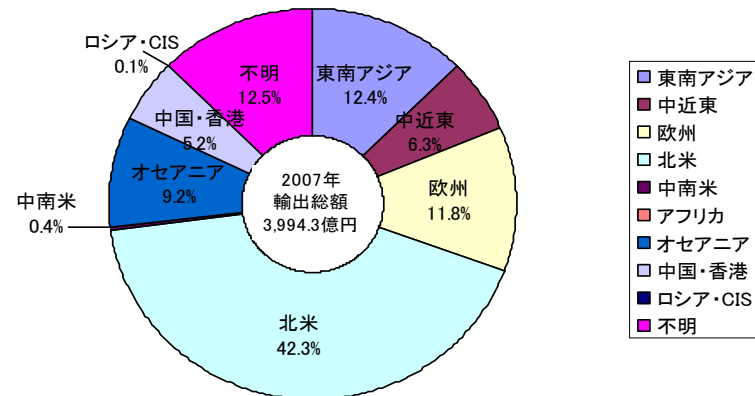
- **電気・電子部品の輸出**が堅調に推移
輸出 591.0億円(前年比102.5%)
輸入 69.0億円(前年比72.1%)
- **伝統工芸品(南部鉄器)**も堅調に推移
輸出 3.4億円(前年比109.1%)

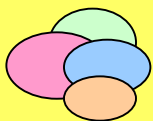
これまで以上に世界とのつながりを深める岩手

岩手県の輸出入トレンド



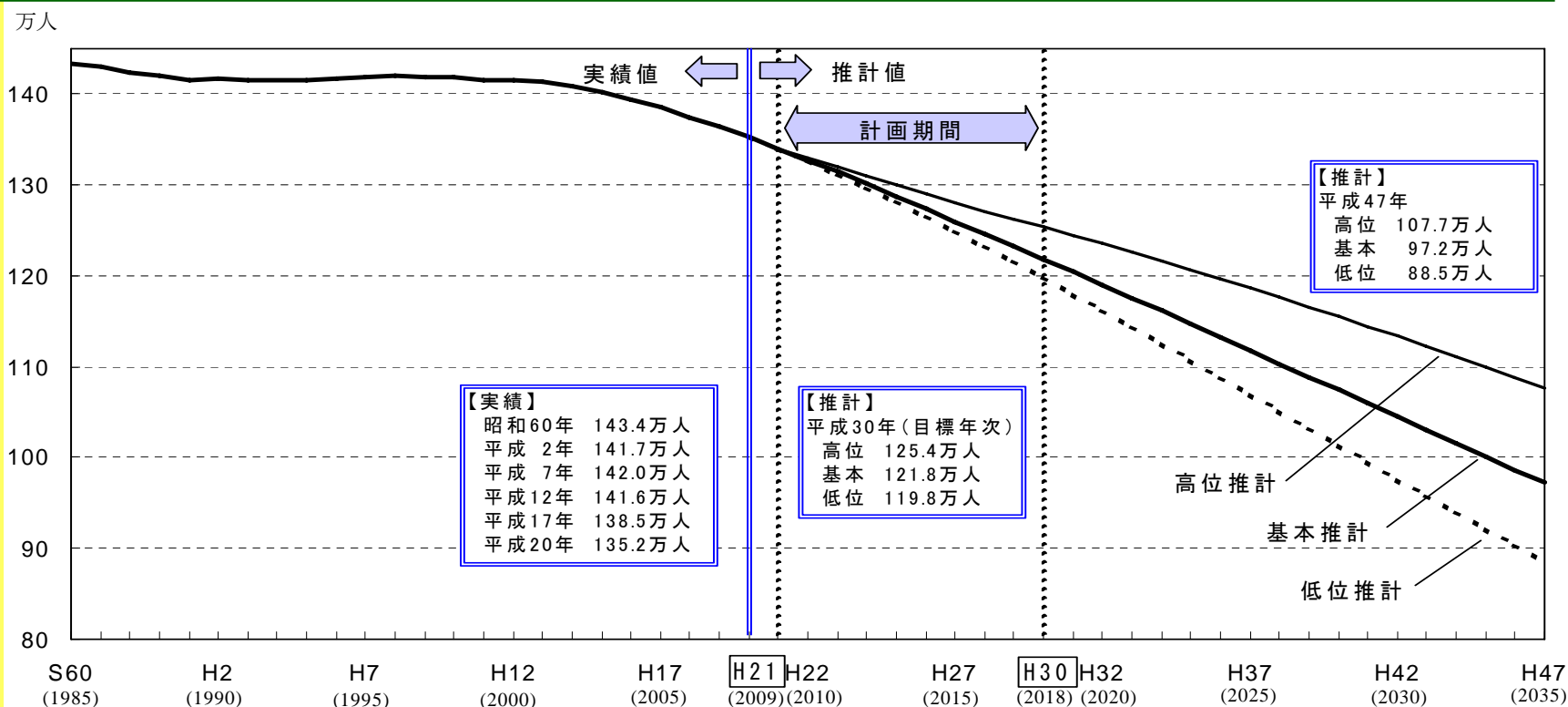
岩手県の地域別輸出





岩手県の将来推計人口

- 本県人口は、平成9年(1997年)以降減少傾向。
- 平成20年10月1日現在、約135万人の県人口は、平成30年(2018年)には120万人から125万人程度となると推計。
- 同じく、65歳以上の高齢者の割合は、26.3%から32~33%程度までに上昇。

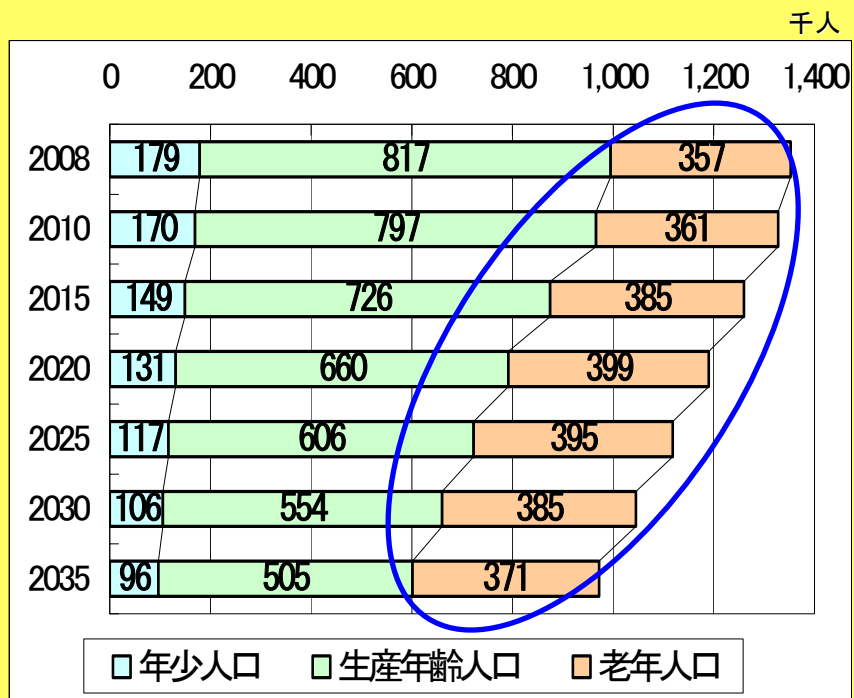


【将来人口推計の主な考え方】

- 基本推計：近年の人口変動の推移が、将来的に続くものと仮定して推計。
- 高位推計：出生率、転出超過率とも、将来的に改善していくものと仮定して推計。
- 低位推計：出生率、転出超過率とも、将来的に改善が進まないものと仮定して推計。

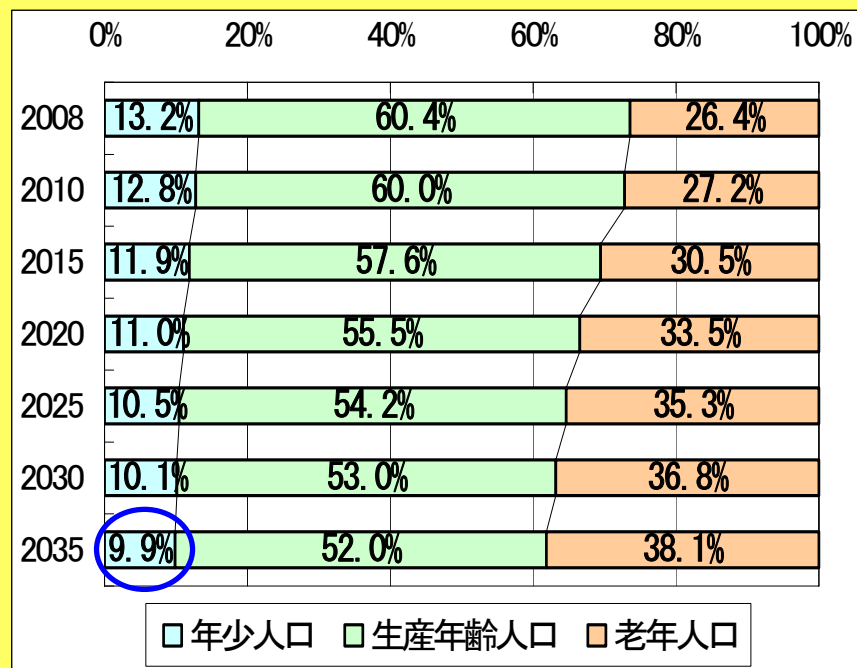
岩手県の将来推計人口

年齢(3区分)別人口の推移



○年少人口、生産年齢人口とも大きく減少

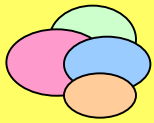
年齢(3区分)別人口構成比の推移



○年少人口割合、生産年齢人口割合とも低下

※市町村別人口の例

- A町 2035年の老年人口割合は71.3%で県内で最も高い(2008年に最も高いのは川井村の43.8%)
- B町 2035年の年少人口割合は3.0%で県内で最も低い(2008年は最も低いのは川井村の8.7%)
- C町 2035年の総人口の指数は101.2(2008=100)だが、増加するのは老年人口のみ(指数170.0)



3 岩手の今を見つめる④

岩手の現状 —強みと弱み—

産業

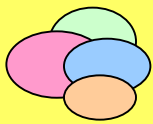
- 進むものづくり産業の集積・産学官の連携
- 全国有数の農林水産業、豊かな観光資源
- ▲ ものづくり分野での県内調達率の低さ
- ▲ 県北・沿岸圏域の産業集積の遅れ
- ▲ ブランド確立や多様化する流通チャネルへの対応の遅れ
- ▲ 厳しい雇用環境

県民生活

- 全国に誇る豊かな自然環境と地球環境問題
- 進む医療機関相互の機能分担と連携
- 低い犯罪発生率、高まる自主防災組織の体制づくり
- 受け継がれる結びつきの精神
- ▲ 進む医師不足・地域偏在
- ▲ 地域コミュニティの機能の低下

教育・文化

- 多くの先人を輩出したひとづくりの土壌
- 独自の教育振興運動と連携した学校、家庭、地域の連携
- 豊富で多様な伝統芸能
- ▲ 家庭の教育力の低下
- ▲ 低い若年者の県内定着
- ▲ 地域の文化を受け継ぐ若者の減少



3 岩手の今を見つめる⑤

産業
～強み～

H20経済産業省 企業満足度調査

全国第2位！

主な調査項目

- ・平成20年4～5月実施
- ・約4900事業所へのアンケート調査結果

人材斡旋・育成への支援 第1位

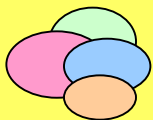
許認可手続き等への対応の迅速性 第2位

ワンストップサービス対応 第2位

インセンティブの整備 第2位

インフラ整備 第28位

順位	県名
第1位	大分県
第2位	岩手県
第3位	北海道、福島県、熊本県
第4位	石川県、福井県、長野県、和歌山県、鳥取県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県



3 岩手の今を見つめる⑥

県民生活
～強み～

自然環境

森林面積 全国2位(県土の約77%が森林)

国の自然環境保全地域指定数 全国1位(和賀岳、早池峰)

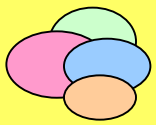
自然環境を保全することが特に必要な地域として環境大臣または都道府県知事により指定される地域

イヌワシの生息数 全国1位(全国の約2割が生息)

自然エネルギー

風力発電導入量 全国11位(H20年度末、1位は北海道)

地熱発電所出力 全国2位(H20年度末、1位は大分県)



3 岩手の今を見つめる⑦

教育・文化
～強み～

岩手の先人たち

◆ 思想家
新渡戸 稲造
(1862～1933)



◆ 歌人
石川 啄木
(1886-1912)



◆ 詩人
宮沢 賢治
(1896-1933)

◆ 政治家
後藤 新平
(1857-1929)



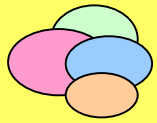
◆ 宰相
原 敬
(1856～1921)

◆ 物理学者
田中館 愛橘
(1856-1952)



◆ 言語学者
金田一 京助
(1882-1971)





4 「ゆたかさ」「つながり」「ひと」で岩手の未来を拓く

グローバル化に対応するためには、岩手らしさを見失うことなく、主体的に世界に通用する地域の独自性を発揮していくことが重要

ゆたかさ

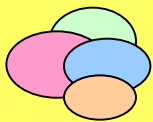
経済的・物質的な「ゆたかさ」と歴史・文化・環境など、岩手ならではの「ゆたかさ」が調和した真の「ゆたかさ」をはぐくむ。

つながり

人と人、人と地域、地域と世界など、様々な「つながり」(ネットワーク)をはぐくむ。

ひと

歴史・風土・伝統を生かしながら地球規模で考え、地域に根ざして活動できる「ひと」をはぐくむ。



5 みんなの基本目標

はぐく
ゆたかさ を育む

経済・物質

歴史・風土

はぐく
つながり を育む

自立と共生

ネットワーク

はぐく
ひと を育む

産業・文化

グローバル

はぐく
希望 を育む

一人ひとりの希望

みんなの希望

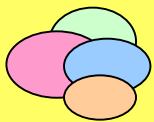
岩手の希望

基本
目標

いっしょに育む『希望郷いわて』



県民一人ひとりが、共に支えあいながら
いきいきと働き、安心して暮らし、
楽しく学んでいくことのできる
希望あふれる社会



6 私たちが実現していききたい岩手の未来

一人ひとりの姿と
それを支える地域社会の姿

仕事

"いきいき"と
働いています

- ◇活力ある産業の展開
- ◇県内経済の力強い循環
- ◇仕事と心豊かな暮らしの調和
- ◇活力と創造性あふれる担い手

「希望郷いわて」の実現

暮らし



"安心"して
暮らしています

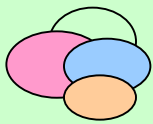
- ◇健康でゆとりを持った暮らし
- ◇豊かな自然環境の継承
- ◇身近な暮らしの安全・安心
- ◇多様な主体の連携

学び・こころ



"楽しく"
学んでいます

- ◇創造力と人間性豊かなひとを
- ◇国際的視野を持ち、地域貢献するひと
- ◇様々な学びやスポーツ活動
- ◇文化芸術活動



7 岩手の未来をつくる7つの政策

仕事

暮らし

学び・こころ

“いきいき”と働く

“安心”して暮らす

“楽しく”学ぶ

産業・雇用

農林水産業

医療・子育て
・福祉

安全・安心

教育・文化

環境

社会資本・公共交通・情報基盤

企業

県民

NPO

生産者

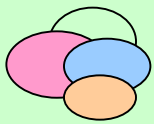
いっしょに育む「希望郷いわて」

学校

団体

市町村

県



各政策分野の展開方向①

産業・雇用



「産業創造県
いわて」
の実現

ものづくり産業の振興

医療機器産業

地域資源型産業の振興

食・観光・地場

次代につながる新たな産業の育成

海洋関連産業

商業、サービス業の振興

中心市街地活性化

海外市場への展開

外国人観光客誘致

雇用労働環境の整備

若年者の地元企業定着

農林水産業



「食と森の創造県
いわて」
の実現

未来を拓く経営体の育成確保

多様な担い手

「食料・木材供給基地」の確立

安全安心産地形成

高付加価値化と販路の拡大

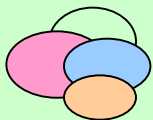
6次産業化

魅力あふれる農山漁村の確立

グリーンツーリズム

環境保全対策と環境ビジネスの推進

バイオマスの活用



各政策分野の展開方向②

医療・子育て・福祉



「共に生きる
いわて」
の実現

地域の保健医療体制の確立

医師確保・地域医療体制

子育て環境の整備

周産期医療、保育サービス

福祉コミュニティの構築

地域トータルケアシステム

安全・安心



「安心して
暮らせる
いわて」
の実現

地域防災力の強化

自然災害への備え

安全・安心なまちづくり

防犯・交通安全・消費者保護

食の安全・安心の確保

安全な食・食育

地域コミュニティの活性化

人材の育成・定住交流の促進

多様な市民活動の促進

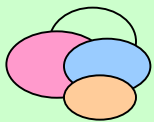
市民活動リーダー育成、活動支援

青少年の健全育成

県民運動の展開

男女共同参画の推進

ワークライフバランス



各政策分野の展開方向③

教育・文化



「人材・
芸術文化
の宝庫
いわて」
の実現

教育力の向上

地域と連携した学校教育の充実

学校教育の質的向上

「知・徳・体」形成、特別支援教育

生涯を通じた学びへの対応

多様な学習機会の提供

高等教育の連携

高校・大学連携

文化芸術の振興

鑑賞機会の提供、人材育成

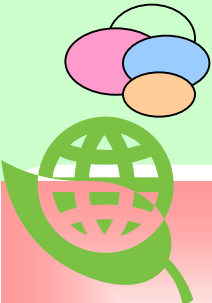
多様な文化の理解と交流

国際交流・異文化交流

豊かなスポーツライフの振興

生涯スポーツ、競技スポーツ

各政策分野の展開方向④



「環境王国
いわて」
の実現

環境

地球温暖化対策の推進

二酸化炭素排出削減、バイオマス

循環型地域社会の形成

3R(リデュース、リユース、リサイクル)

多様で豊かな環境の保全

自然との共生

社会資本



産業を支える社会資本整備

物流の円滑化

安全安心な暮らしを支える社会資本整備

災害に強い県土

豊かで快適な環境を創造する基盤づくり

都市、景観、下水道

維持管理と担い手の育成

長寿命化、建設業育成

交通

公共交通の維持・確保と利用促進

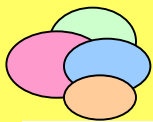
バス、鉄道

情報

情報通信基盤の整備、利用促進

ブロードバンド、技術の活用

「いわてを
支える
基盤」
の実現



8 岩手の未来を切り拓く6つの構想

「岩手の未来を切り拓く6つの構想」の位置付けのイメージ図

岩手の未来を拓く
視点を踏まえた
戦略的考え方

ゆたかさ
地域資源
の活用

つながり
連携・交流
の強化

ひと
地域の価値・
誇りの向上

産業・雇用	農林水産業	医療・子育て・福祉	安全・安心	教育・文化	環境	情報・公共交通	社会資本
海の産業創造いわて構想							
+	+		+	+	+	+	+
次世代技術創造いわて構想							
+	+			+			+
環境共生いわて構想							
+	+		+	+	+	+	+
元気になれるいわて構想							
+	+	+	+	+	+	+	+
安心のネットワークいわて構想							
		+	+	+	+	+	+
ソフトパワーいわて構想							
+	+		+	+	+	+	+

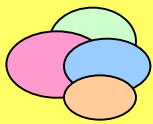
私たちが実現していきたい岩手の未来

【基本目標】「いっしょに育てる」希望郷いわて

【仕事分野】
“いきいき”と働いています。

【暮らし分野】
“安心”して暮らしています。

【学び・こころ分野】
“楽しく”学んでいます。



岩手の未来を切り拓く6つの構想①

1 海の産業創造いわて構想

■ 三陸の「海」の多彩な資源

- ✓ 豊富な漁業資源
- ✓ 我が国屈指の海岸美
- ✓ 三陸のブランドイメージ
- ✓ 漁村風景や漁撈文化
- ✓ 沿岸に分散する港湾・漁港
- ✓ 海洋研究機関の立地
- ✓ 海底・海中資源の可能性
- ✓ 日本海溝に近接

海の産業創造 いわて構想

- ◇ 新規ビジネス創出に向けた仕組みづくり
- ◇ 三陸の「海」の多様な資源の利用拡大
- ◇ 新産業創出等に向けた海洋研究・資源開発の促進
- ◇ 環境と調和した持続可能な産業基盤の形成

● 新商品・新事業の創出

(例) 機能性食品、海洋レジャー、エコ
ツーリズム、観光漁業 など



北山崎サツパ船
アドベンチャーズ

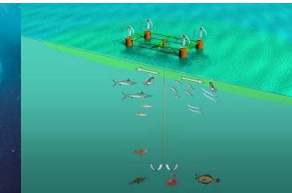


観光地曳網漁

● 海洋バイオ・深海研究の 拠点形成など

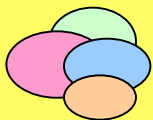


深海調査船



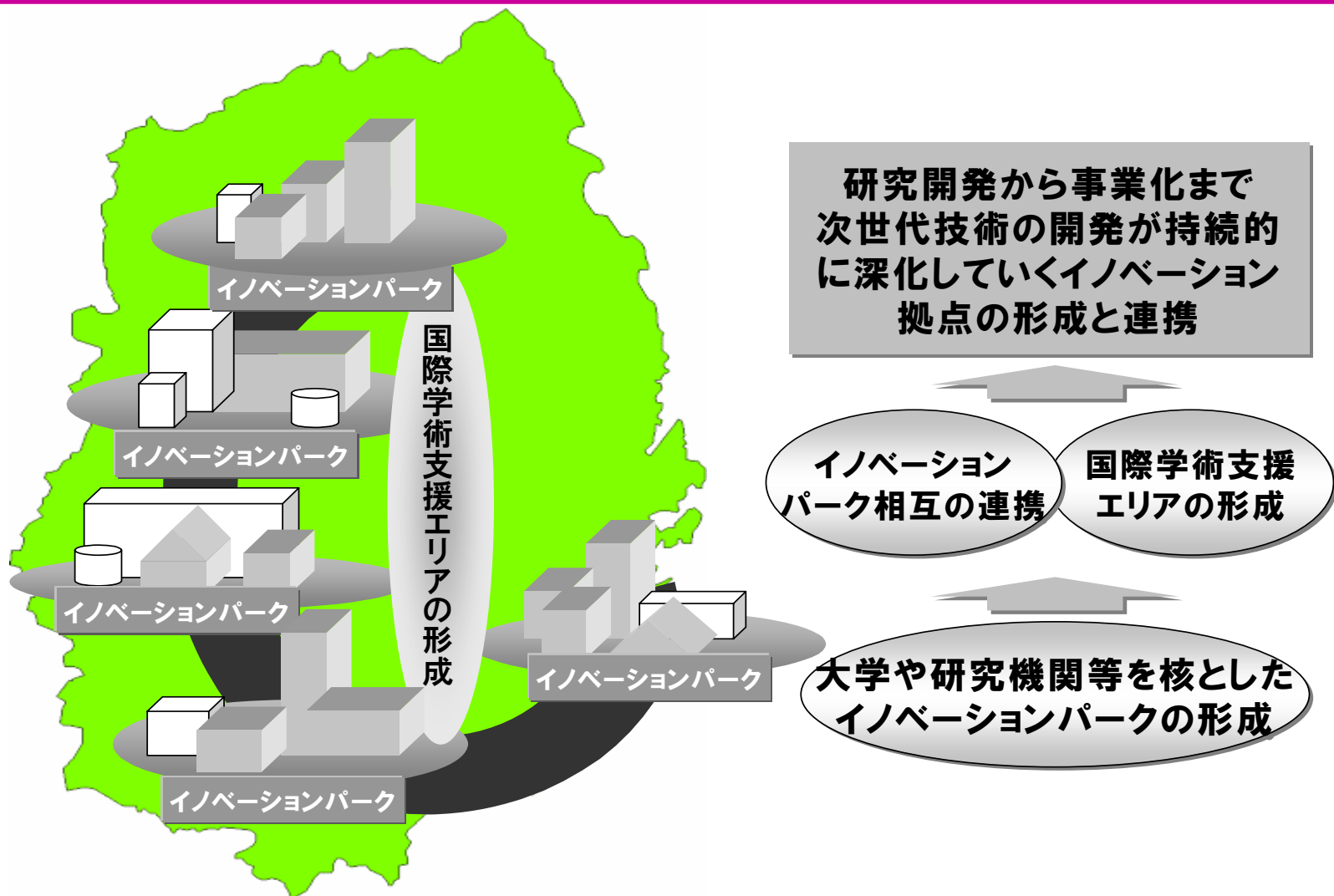
洋上風力発電
(水産施設での利用イメージ)

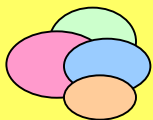
海洋産業の競争力の強化、地域経済の活性化



岩手の未来を切り拓く6つの構想②

2 次世代技術創造いわて構想

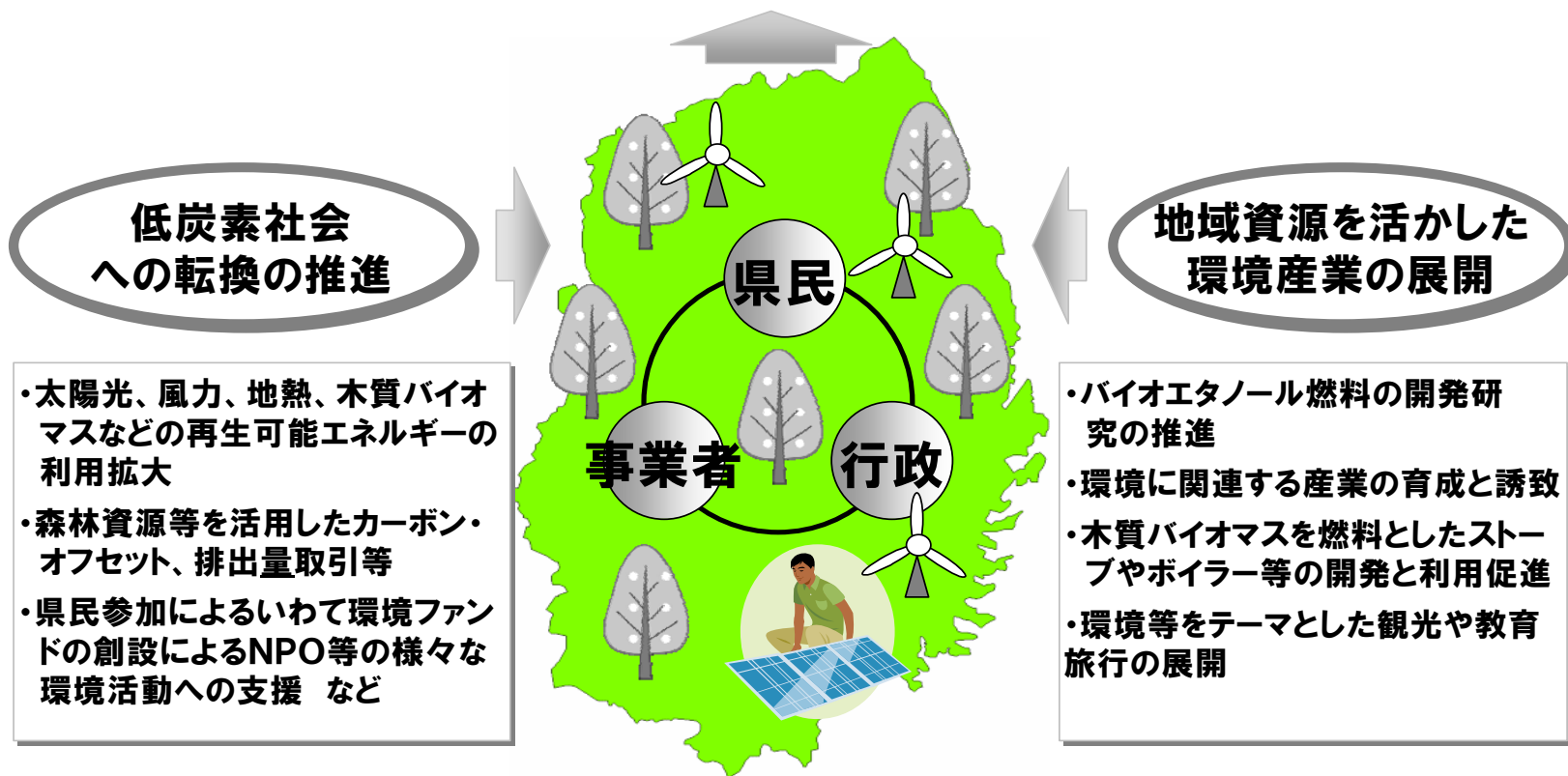


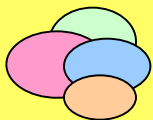


岩手の未来を切り拓く6つの構想③

3 環境共生いわて構想

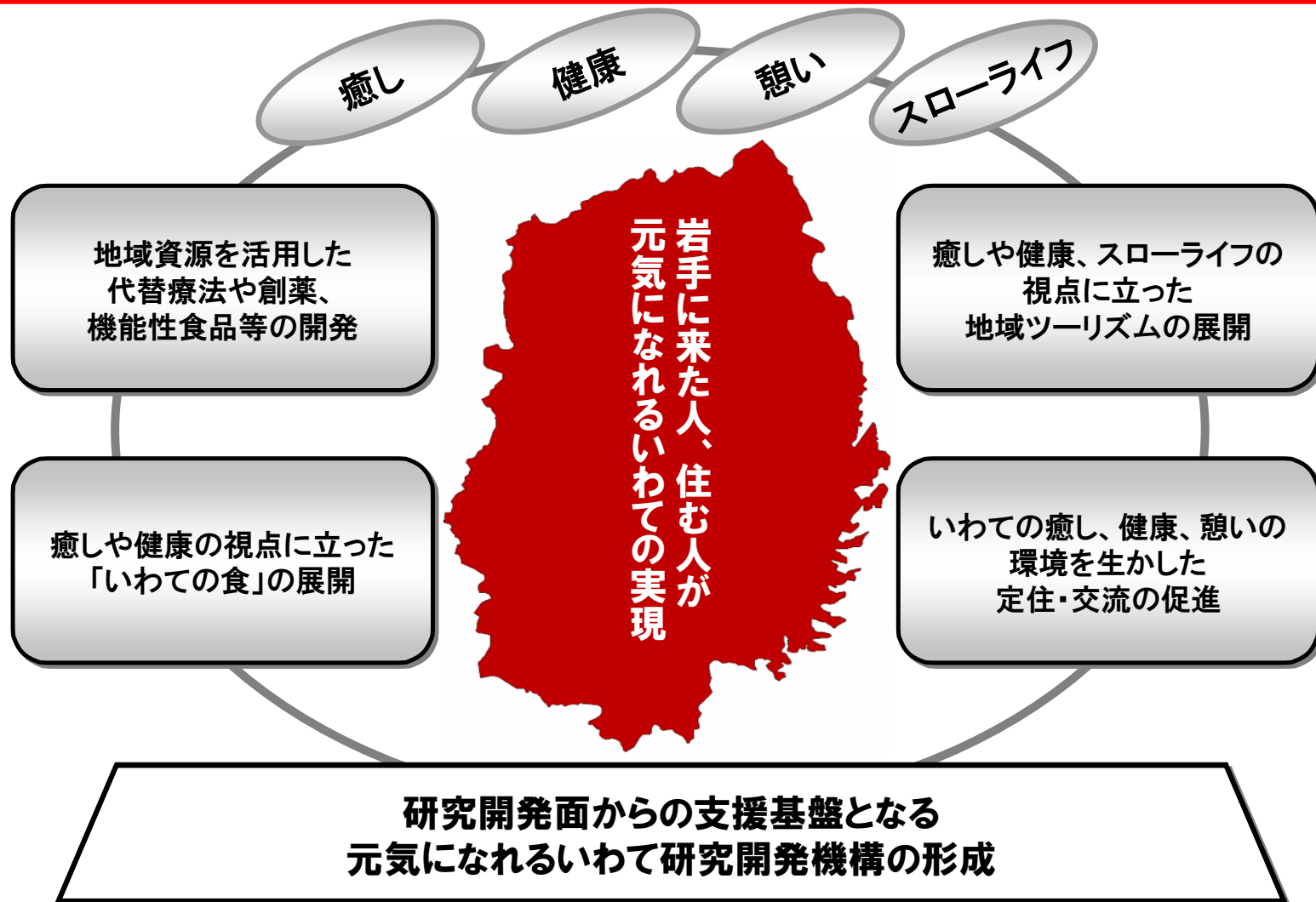
環境と共生する持続可能な地域社会の実現

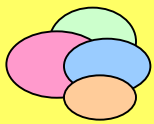




岩手の未来を切り拓く6つの構想④

4 元気になれるいわて構想

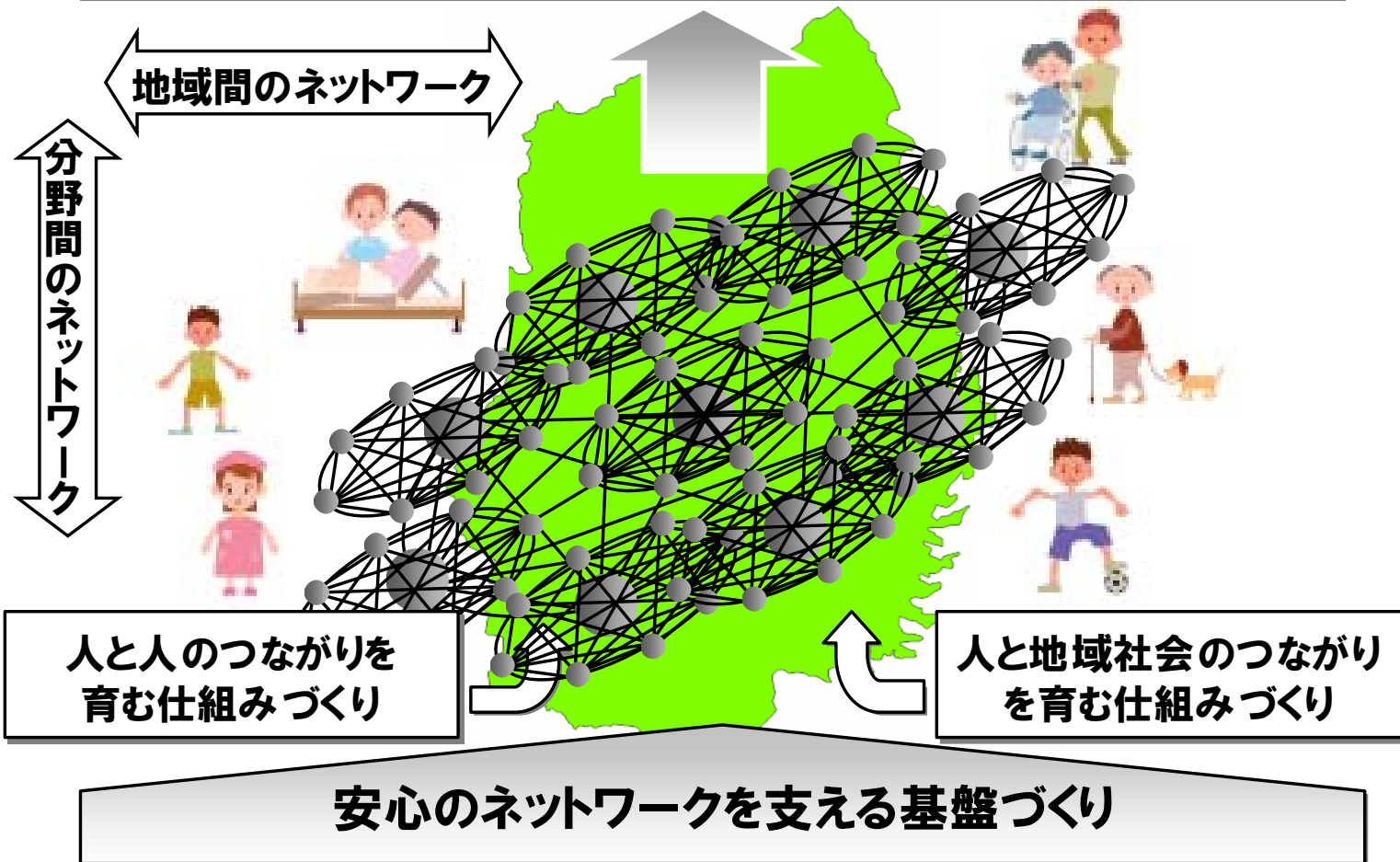


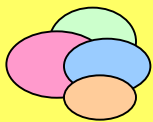


岩手の未来を切り拓く6つの構想⑤

5 安心のネットワークいわれて構想

県民が住みなれた場所で安心して暮らすための
地域で支え合うさまざまな仕組みづくりと重層的なネットワーク化

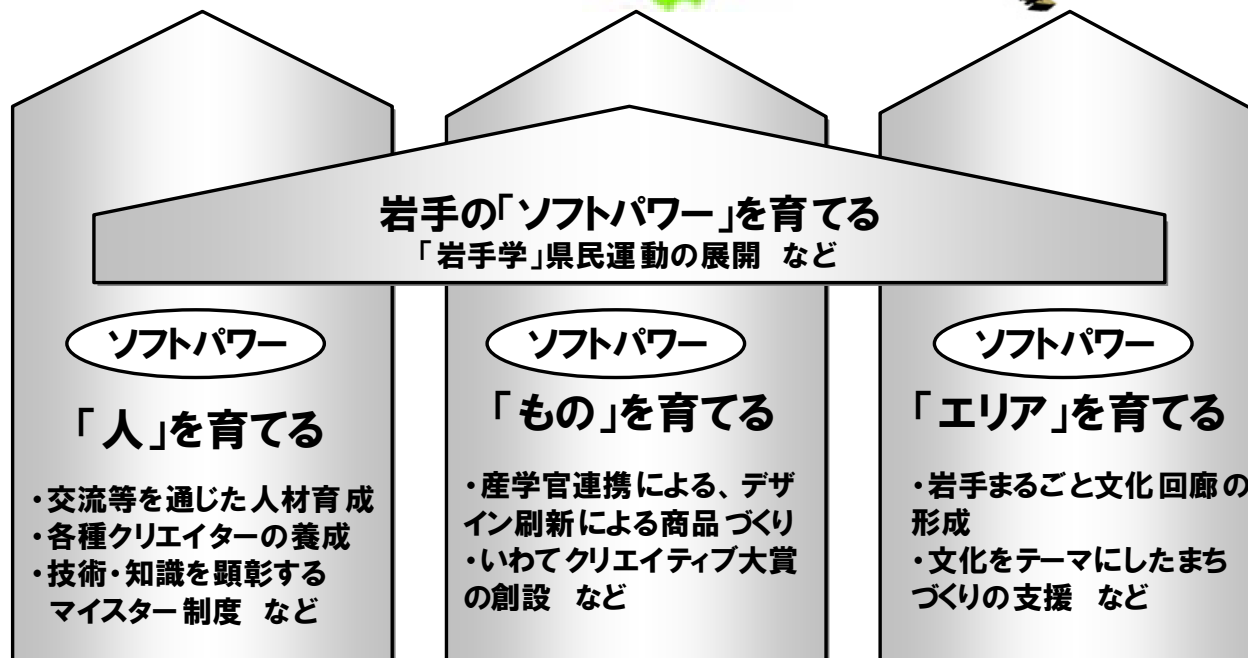


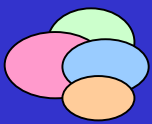


岩手の未来を切り拓く6つの構想⑥

6 ソフトパワーいわて構想

地域の創造性や魅力の源泉となる岩手のソフトパワーを掘り起こし、さらに新たな価値を創造、発信





9 地域振興の展開方向

■ 4広域振興圏〈県央〉〈県南〉〈沿岸〉〈県北〉の振興

- 明確な顔をもった4広域振興圏の確立

■ 広域振興圏や県の区域を越えた広域的な連携の強化

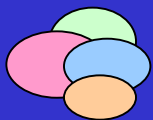
- 各圏域間における連携・相互補完の強化
- 青森、秋田、宮城の各県との県境地域での連携の強化
- 「北海道・北東北」「東北全体」など県レベルでの連携の推進

■ 地域コミュニティの強化

- 地域活動を牽引する人材の育成や他地域との連携・交流などの取組強化
- 農山漁村と都市との交流、移住・定住の促進

■ 県北・沿岸圏域及び過疎地域等の振興

- 優れた地域資源を生かした産業振興
- 産業を支える社会資本の整備
- 安心・安全な生活を確保するための環境整備
- 生活交通・医療・教育や産業振興策への支援



地域振興の展開方向

■4広域振興圏の振興

- 明確な顔を持った4広域振興圏の確立
- とりわけ、県北・沿岸圏域の振興の強化、過疎等条件不利地域の振興

県央広域振興圏

都市と農山村が広域的に連携し合いながら北東北の拠点としての機能を担う地域

沿岸広域振興圏

三陸から世界へ挑む産業が躍動し、海陸の交流拠点としての機能を担う地域

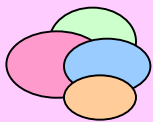
目指す将来像

県南広域振興圏

「連繫」と「協働」により、地域の資源を生かしながら世界に誇れる岩手をリードする地域

県北広域振興圏

培われた知恵・文化、多様な資源・技術を生かし、八戸圏域等との交流・連携を深めながら、持続的に発展する活力みなぎる地域



10 県政運営の基本姿勢

背景

- ◆ **人口減少・少子高齢化の加速**
(地域経済や財政への影響、家族の相互扶助機能の一層の低下)
- ◆ **価値観の多様化**
(ニーズの多様化・複雑化、中央集権型の行政システムの限界)
- ◆ **厳しさが予想される行財政状況**
(国と地方合わせて800兆円を超える長期公債残高)

行政運営の視点

◎ 計画を支える基盤づくり



◆ 県民とともに未来を切り拓く県政

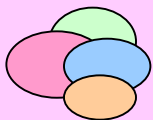
- いわての未来づくりを支える専門集団へ
- いわてを支える持続可能な行財政構造の構築

◎ 地域社会の総力を結集する仕組みづくり



◆ 新しい公共サービスのかたちづくり

- 多様な主体による公共サービスの提供
- 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立



県政運営の基本姿勢①

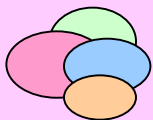
県民とともに未来を切り拓く県政

■ いわての未来づくりを支える専門集団へ

- ・ 地域経営のイノベーション(革新)を支え続ける集団への進化
- ・ 県民の活動を支援するシンクタンク機能の発揮
- ・ 県民の安心と信頼に応える行政サービスの提供

■ いわてを支える持続可能な行財政構造の構築

- ・ 持続可能な財政構造の構築
- ・ 効率性と実行力を兼ね備えた体制の整備



県政運営の基本姿勢②

新しい公共サービスのかたちづくり

■ 多様な主体による公共サービスの提供

- ・ 県民参画による地域づくりの推進
- ・ 多様な主体により公共サービスを担う仕組みづくり

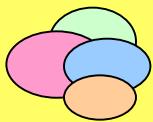
■ 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

- ・ 地方分権改革の推進
- ・ 県と市町村の役割分担の再構築

いわて県民計画

【アクションプラン編】

平成21年度(2009年度)～平成22年度(2010年度)



11 政策編①

- 政策推進目標 -

2年間で特に重点的に取り組む「政策推進目標」

県民の「仕事」と「暮らし」を守るとともに、
「ゆたかさ」「つながり」「ひと」を育むための基盤をつくる

緊急かつ重大な課題

■ 雇用環境

求人不足数を改善

■ 県民所得

国民所得に対する県民所得水準の乖離を縮小

■ 地域医療

病院勤務医師数の減少傾向に歯止め、救急患者における軽症患者の割合の減少

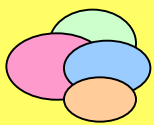
■ 人口

地域活力の低下をもたらす人口の社会減に歯止め

10年を見据えた課題

■ 「ゆたかさ」「つながり」「ひと」の基盤形成

あらゆる分野で、“ゆたかさ”、“つながり”、“ひと”をはぐくむための
「呼びかけ」「きっかけ」「仕掛け」づくり



11-1 政策編② – 7つの政策と42の政策項目 –

I 産業・雇用

～「産業創造県いわて」の実現～

- 1 国際競争力の高いものづくり産業の振興
- 2 食産業の振興
- 3 観光産業の振興
- 4 地場産業の振興
- 5 次代につながる新たな産業の育成
- 6 商業、サービス業の振興
- 7 海外市場への展開
- 8 雇用・労働環境の整備

II 農林水産業

～「食と緑の創造県いわて」の実現～

- 9 農林水産業の未来を拓く経営体の育成
- 10 消費者から信頼される「食料・木材供給基地」の確立
- 11 農林水産業の高付加価値化と販路の拡大
- 12 「いわて」の魅力ある農山漁村の確立
- 13 環境保全対策と環境ビジネスの推進

III 医療・子育て・福祉

～「共に生きるいわて」の実現～

- 14 地域の保健医療体制の確立
- 15 家庭や子育てに夢をもち
安心して子どもを生み育てられる環境の整備
- 16 福祉コミュニティの確立

IV 安全・安心

～「安心して、心豊かに暮らせる
いわて」の実現～

- 17 地域防災力の強化
- 18 安全・安心なまちづくりの推進
- 19 食の安全・安心の確保
- 20 多様な主体の連携による地域コミュニティの活性化
- 21 多様な市民活動の促進
- 22 青少年の健全育成
- 23 男女共同参画の推進

V 教育・文化

～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

- 24 家庭・地域との協働による学校経営の推進
- 25 児童生徒の学力向上
- 26 豊かな心を育む教育の推進
- 27 健やかな体を育む教育の推進
- 28 特別支援教育の充実
- 29 生涯を通じた学びの環境づくり
- 30 高等教育の連携促進と機能の充実
- 31 文化芸術の振興
- 32 多様な文化の理解と交流
- 33 豊かなスポーツライフの振興

VI 環境

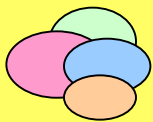
～「環境王国いわて」の実現～

- 34 地球温暖化対策の推進
- 35 循環型地域社会の形成
- 36 多様で豊かな環境の保全

～「いわてを支える基盤」の実現～

VII 社会資本・公共交通・情報基盤

- 37 産業を支える社会資本の整備
- 38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備
- 39 豊かで快適な環境を創造する基盤づくり
- 40 社会資本の維持管理と担い手の育成・確保
- 41 公共交通の維持・確保と利用促進
- 42 情報通信基盤の整備と情報通信技術の利活用促進



11-2 地域編①

県央

都市と農山村が広域的に連携し合いながら北東北の拠点としての機能を担う地域

I 地域の自立を支える地域経済基盤の確立

- 1 学術研究機能の集積を生かした新産業の創出と地場産業の振興
- 2 産業と地域のネットワーク化による滞在型観光の振興
- 3 地域ブランドの強化による競争力に優れた農林業の振興
- 4 雇用環境の改善
- 5 産業経済活動、地域間交流を支える社会資本の整備

II 快適で安全・安心な地域社会の形成

- 6 安心して健やかな暮らしを支える保健、医療、福祉の充実
- 7 新エネルギーの積極的な導入など環境との共生を図る循環型地域社会の創造
- 8 北東北の拠点にふさわしい都市環境、生活環境の充実
- 9 住民の生命と財産を守る防災施設等の整備

県南

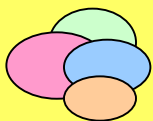
「連繋」と「協働」により、地域の資源を生かしながら世界に誇れる岩手をリードする地域

I 地域のあらゆる資源を生かしながら、世界に通じる技術と個性ある地域素材が織りなす強い地域産業が躍動する社会の構築

- 1 雇用環境の改善と若者の地元定着
- 2 世界に通用するものづくり基盤の構築
- 3 観光産業の振興
- 4 食産業の振興
- 5 持続可能な地域農業の推進
- 6 持続可能な林業・林産業の推進
- 7 伝統的地場産業の振興
- 8 社会資本整備の推進

II 助け合う風土や豊かな自然を大切にしながら、安全で安心して暮らせる住みよい地域社会の形成

- 9 地域医療・健康危機管理体制の構築
- 10 勤労者が健康で安心して働ける環境づくり
- 11 高齢者が健康で安心して生活できる地域づくり
- 12 障がい者の地域での自立及び就労支援
- 13 住民のくらしを守る防災対策の推進
- 14 環境と共生した持続可能な地域社会の構築
- 15 暮らしの環境とまちづくりの推進



11-2 地域編②

沿岸

三陸から世界へ挑む産業が躍動し、海陸の交流拠点としての機能を担う地域

I 地域の自立と活力を生み出す産業の振興

- 1 地域経済をリードするものづくり産業の集積
- 2 産業を支える社会基盤の整備
- 3 雇用環境の改善
- 4 地域産業の基盤としての農林水産業の振興
- 5 沿岸の農林水産資源を活用した食産業の展開
- 6 総合産業としての観光の展開

II 安全・安心な暮らしができる三陸地域の形成

- 7 地震・津波等の災害に強いまちづくりの推進
- 8 住み良い暮らしの環境づくりの推進
- 9 良好な自然環境の保全と活用による環境との共生の実現
- 10 安心して子どもを産み育てることができ、健やかに長寿を楽しむ社会の実現
- 11 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保及び健康づくりの展開

県北

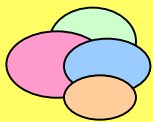
培われた知恵・文化、多様な資源・技術を生かし、八戸圏域等との交流・連携を深めながら、持続的に発展する活力みなぎる地域

I 地域の自立を可能とする産業経済基盤の構築

- 1 農林水産業の担い手育成と産地形成
- 2 地域資源を生かした食産業の振興
- 3 体験型・交流型観光の展開
- 4 ものづくり産業の集積
- 5 雇用環境の改善
- 6 産業を支える物流基盤の整備

II 安全・安心に暮らせる地域社会の形成

- 7 地域における医療と健康づくりの推進
- 8 地域で支えあう福祉の推進
- 9 環境の保全
- 10 防災・危機管理対策の推進
- 11 定住環境の整備



11-3 改革編①

改革の基本姿勢

長期ビジョン: 県政運営の基本姿勢 (H21~H30)

～ 「希望郷いわて」を支える県政運営 ～

1 県民とともに未来を切り拓く県政

■ いわての未来づくりを支える専門集団へ

■ いわてを支える持続可能な行財政構造の構築

2 新しい公共サービスのかたちづくり

■ 多様な主体による公共サービスの提供

■ 活気に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

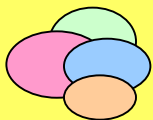
アクションプラン: 改革の基本姿勢

～ 改革に当たっては、次の姿勢で取組を推進 ～

県の有する経営資源を最大限活用した行政サービスの提供

真の「ゆたかさ」に繋がる「ひと」づくり、「つながり」づくりの推進

県民本位の姿勢で自信と誇りを持って県民と共に考え行動



11-3 改革編②

アクションプラン：基本姿勢を踏まえた4つの改革

【改革1】 組織パフォーマンスの向上

- ・広域振興局体制・本庁体制の整備、権限の見直し
- ・地域に根ざした施策展開ができる人材育成強化
- ・職員憲章の徹底、自主的・自律的な改革改善
- ・透明性の確保、県民参画の推進 など

【改革3】 民間力・地域力が最大限に発揮される仕組みづくり

- ・多様な主体との継続的な協働等の仕組みづくり
- ・新たな官民ネットワークの形成
- ・新たな手法導入による公共サービス改革
- ・県民との知識や情報の共有や提供機能の充実 など

【改革2】 行財政構造の徹底した簡素・効率化

- ・政策の選択・集中による行財政改革の一層推進
- ・歳入の確保強化、歳出の徹底した見直し
- ・財政状況の透明化
- ・公営企業・外郭団体の改革・効率化
- ・総人件費の抑制、職員4,000人体制実現 など

【改革4】 県と市町村の役割分担の再構築

- ・第二次分権改革への対応
- ・市町村合併の推進
- ・市町村への権限移譲等基盤強化の支援
- ・広域振興圏ごとの県市町村協議の場の設置
- ・広域振興局による支援強化 など

〈お問合せ先〉

岩手県 政策地域部 政策推進室

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

TEL:019-629-5508,5509

FAX:019-629-5254

Eメール:AA0001@pref.iwate.jp